

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	茂原駅南口公衆無線LAN設置事業			基本計画	節	3	総合戦略	基本目標	
事業コード					テーマ	3		施策の方向	
課係名	商工観光課観光経済係	内線			施策	1		施策	
担当者氏名		職名			主な施策展開	1		整理番号	

事業実施の経緯(現状)	一人1台以上のモバイル端末を所持しており、情報収集には必須のものとなっている。また観光や、飲食店のPRも以前の紙媒体から変化し、現在ツイッターやインスタグラムといったSNSの発信が主流となっており、さらに動画の活用など通信量が増大する傾向になる。1日約20,000人以上の利用客があり、交通や観光の拠点で茂原の玄関口となる駅前には速やかに設置する必要がある。
めざす姿・ねらい(目標・目的)	①茂原駅前南口駐車場に公衆無線LANアクセスポイントを設置し、モバイル端末利用者に対し、高速かつ快適な環境を提供し、来訪者の利便性に寄与する。
実現するための課題(問題点)	①設置後は光回線使用料、電気料金の固定費が必要になる。(約17万円/年)
具体的な取組(解決策)	①茂原駅南口駐車場の管理を委託しているため、設置場所や、年間固定費の負担について協議を行う必要がある。

主要指標	指標の種類		指標及び目標値(目標)の考え方	目標値(目標)		
	名称			3年度	4年度	5年度
■活動指標	①	公衆無線LANアクセスポイント設置	設置台数	2台		
	②					
■成果指標		年間アクセス数	アクセスポイントに接続した人数	4,500人	18,000人	22,000人

実施根拠	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令計画名	①	②
			③	④
		補正予算要求理由	アフターコロナのマイクロツーリズム及びインバウンドに向けて、茂原駅前の通信環境の整備を進める必要があるため。	

事業継続	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度:無期	後年度負担	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> 複数年度:有期[ 始期 ~ 終期 ]	内容	通信料16万円/年 電気料1万円/年

事業費の積算(千円)	年度	3年度		4年度		5年度		事務スケジュール	
		事業費	人工数	事業費	人工数	事業費	人工数		
	3年度	公衆無線LANアクセスポイント設置費用	1,498	1				年月 内容	
		606千円	国県	1,498					3.9 補正予算成立
		配線費用							随時 契約
		660千円	市債						3.11 アクセスポイント設置完了
		光回線使用料等							3.11 運用開始
		170,000円÷12ヶ月×5ヶ月=71千円	その他						3.12 広報等で周知
	4年度	電気設備工事	0	0					
		161千円	一般財源	0					
		光回線使用料・電気代	170	170					
		170千円	事業費						
			国県						
			市債						
5年度	光回線使用料・電気代	170	170						
	170千円	事業費							
		国県							
		市債							
		その他							
		一般財源	170	170					

## 事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 事業の必要性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会環境や市民ニーズと整合があるか。</li> <li>・市が事業を行うことについて妥当であるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 必要性が高い B. 必要性が認められる C. 必要性について検討が必要である	一人1台以上のモバイル端末を所有し、モバイル端末による情報発信や情報収集及びコロナ禍に順応した新しい働き方等、現代において公衆無線LANの設置は既に是非を検討する段階にないと考えらる。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画基本計画の施策の達成にどのように寄与するか。</li> <li>・ほかの事業と関連できる場合、より有効に働く面はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 有効性が高い B. 有効性が認められる C. 有効性について検討が必要である	JAPAN-WiFiに登録することで、インバウンド対策にもなり、総合計画に掲げる「観光情報の提供」等、地域の魅力を発信することで、シティプロモーションに寄与する。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・投入したコストに見合った成果があがる見込みがあるか。</li> <li>・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 効率性が高い B. 効率性が認められる C. 効率性について検討が必要である	茂原市初の公衆無線LANを日常の利用率の高い茂原駅前に設置することで、対外的に最も効率的なPRが出来る考える。光回線等利用料は各社生存競争により減少傾向にあり、今後増加の見込みはない。
	4. 財源確保の見通し		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国・県補助等の見通しはどの程度までであるか。</li> <li>・財源確保のため、他の事業を縮小又は廃止できる可能性はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 見通しがある B. 一部見通しがある C. 見通しがない	地方創生臨時交付金を活用する。

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由
	B	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	観光用途も含め、他の活用についても庁内で連携し検討する必要がある。
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由
	A	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	アフターコロナのインバウンド対策にもなり、総合計画に掲げる「観光情報の提供」等、地域の魅力を発信するための基盤を整備することでシティプロモーションに寄与するため。
	■庁議による方針		
	評価		具体的な方向性
	A	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の中で、他の事業と優先順位を考慮した上で、9月補正予算で事業実施する。